

事業所名

児童デイサービスくろーばー

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

31 日

法人（事業所）理念		誰もがありのままにその人らしく地域で暮らす								
支援方針		① 児童が生き生きと過ごせる場所にする ② 保護者と共に成長を喜べる場所にする ③ 安心・安全・丁寧に支援する								
営業時間		9 時	0 分	から	19 時	0 分	まで	送迎実施の有無	○あり	なし
支 援 内 容										
本人 支 援	健康・生活	健康状態把握のために、来所時には手洗い後検温をしています。おやつの中には、座る椅子を自分で運び、食べるおやつ、おやつを入れる食器を準備します。食べ終わったら、お菓子のゴミを捨てて、食器は洗い物を入れる所に入れます。								
	運動・感覚	バトミントンや羽子板遊びでは羽根を打つ感覚を養い、風船バレーでは風船を打つ強さを身に付けられるようにサポートしています。様々な遊びを通して、感覚や刺激を感じ、体の使い方が学べるようにしています。活動の中でえらぶんだー（おやつ買いの疑似体験）すーぱーえらぶんだー（スーパーにてのおやつ買い）を通じお金の使い方や社会性を学んでいます。								
	認知・行動	制作活動（わくわーく）では、毎月テーマを決めて制作活動を行っています。作った物については家庭に持ち帰り保護者に見てもらいます。創作活動では、のりやハサミの使い方や力加減を学んでいきます。出来た事の達成感も感じられるような活動になっています。								
	言語 コミュニケーション	集団活動の中で他者とのやりとりが難しい場合は、職員が間に入り援助、支援します。絵カードやサインなどを用いて、言葉以外でのコミュニケーション手段が得られるように支援します。								
	人間関係 社会性	つっくるん（調理活動）では自分の食べる物を自分で作っています。作る工程の説明を聞き順番を待つ事が身に付くようにサポートしています。集団活動を通して、ルールや順番を守る事や、協調した関わりを持てるように支援します。								
家族支援		送迎時には活動中の様子を伝えることで保護者と情報を共有しています。困った事や質問がある場合にはいつでも相談出来るような体制にしています。			移行支援		必要であれば学校などに訪問して情報を共有します。学校での引き渡し時ではその日の様子を教えてもらい支援に活かします。			
地域支援・地域連携		お買い物に出掛けたり、公園を利用して地域に出掛ける活動をしています。相談支援事業所と連携をとり支援に活かしています。			職員の質の向上		経験に合わせて研修に参加できる様な体制を整えています。法人研修や事業所内研修を設けスキルアップ出来る場を作っています。			
主な行事等		季節の行事に触れる経験が出来るような活動を行っています。（初詣、風揚げ、節分、お花見、クリスマスなど）春にはいちご狩り、夏にはブルーベリー狩り、秋にはぶどう狩りに出掛けています。外食の経験を積んでマナーが身につくようにしたり、公共交通機関に乗る事でのルールを学ぶ機会も設けています。								